



死亡災害撲滅のための緊急対策

宮城労働局（局長 代田 雅彦）は、労働災害による死亡者が急増している状況を踏まえ、死亡災害撲滅のための緊急対策を実施することとしました。

関係団体、各事業場においては各取組事項の実施をお願いします。

実施期間：令和元年6月17日(月)～ 7月31日(水)

災害発生状況（本年1月～5月までの速報）

- ◆ 休業4日以上之死傷者数は772人となり、昨年同期に比べ218人（22.0%）の減少となった。
- ◆ 死亡者は5月末時点で10人となっている。昨年1年間の死亡者は、**震災以降最も多い23人であったが、本年はそれを上回るペースになっており、特に本年4月以降、死亡災害が多発している。4月から5月だけでも6件もの死亡災害が発生しており、過去10年間（平成22年以降）で最悪の状況となっている。**

死亡災害撲滅のための緊急対策

- ◆ 「Safe Work ゼロ災 Miyagi」のロゴマークを製作し、安全意識の高揚等を目的とし普及を図る。
- ◆ 宮城労働局長が建設現場のパトロール等を実施する。
- ◆ 一斉パトロール日を設定し、労働局及び県内各労働基準監督署（5署）、関係団体等が一斉に製造現場、建設現場等のパトロール等を実施する。 など

関係団体の取組事項

- ◆ 安全衛生パトロールの実施強化
- ◆ 職場安全自己診断に係る支援
- ◆ 集団指導、安全衛生教育の実施
- ◆ 関係事業者に対する周知・啓発及び指導・支援
- ◆ 機関紙への掲載等
- ◆ 宮城労働局が提唱するロゴマーク「Safe Work ゼロ災 Miyagi」の掲示等による安全意識の向上

事業場の取組事項

- ◆ 経営トップによる特別巡視（全事業場共通）
- ◆ 安全衛生管理体制の充実（全事業場共通）
- ◆ リスクの洗い出しとその計画的な改善（全事業場共通）
- ◆ 経験の浅い労働者への対応、経験豊富な労働者の能力向上（全事業場共通）
- ◆ 健康管理結果に基づく措置の確実な実施（全事業場共通）
- ◆ 墜落・転落災害の防止（該当事業場）
- ◆ クレーン・移動式クレーン・車両系建設機械等による作業の安全確保（該当事業場）
- ◆ 交通労働災害の防止（全事業場共通）
- ◆ 宮城労働局が提唱するロゴマーク「Safe Work ゼロ災 Miyagi」の掲示等による安全意識の向上（全事業場共通）

Safe Work ゼロ災 Miyagi のロゴマーク



「Safe Work ゼロ災 Miyagi」のロゴマークは、今後、宮城労働局ホームページに掲載されますので、各社の労働災害防止活動にご利用いただけます。

宮城労働局

検索

「Safe Work」とは・・・

「Safe Work」は、「労働災害を防止し、労働者が安全に働くことができる職場環境を実現する」との意思を表すものであり、国連の専門機関であるILO（国際労働機関）においても使われているフレーズです。

また、Workの「k」の字は、安全確認のための指差呼称をする人を模したものとしています。

背景は、「未来への架け橋」と虹をイメージした弧と、現在の宮城の基礎を築いた伊達政宗の兜の前立てをモチーフにした三日月をデザインし、それぞれ自然豊かな宮城の緑と、発展の象徴である金色系としています。

本ロゴマークは、「労働災害防止の推進」、「事業場内外の安全意識の高揚」等を目的とする場合には自由にお使いいただけますので、「Safe Work」をキャッチフレーズとした労働災害防止に取り組んでいただきたいと思います。

宮城労働局

NEXT → 宮城県内における死亡災害発生の概要

平成31年 宮城県内における死亡災害発生概要

令和元年6月4日現在速報

番号	発 生 年 月 時 間 帯	事故の型 起因物	業 種 労働者数	災害の内容
2	H31.2 7時頃	交通事故 (道路) トラック	一般貨物運送事業 50人～99人	公道脇にある小売店の駐車場でトラックにタイヤチェーンの装着作業を行っていたところ、公道を走行していたトラックが凍結した路面でスリップし、激突した。
3	H31.2 15時頃	交通事故 (道路) トラック	通信業 100人～199人	作業の下見のため、県道交差点を自転車で走行中、左側から走行してきたトラックに衝突された。
4	H31.3 3時頃	おぼれ 乗用車	警備業(17.2.1) 200人～299人	
5	H31.4 15時頃	激突され 伐木等機械	林業 (6.2.9) 1人～9人	民家裏山において立木(直径約40cm)の伐採作業中、林業用重機で立木を押し倒したところ、立木付近にいた被災者に立木が激突した。
6	H31.4 19時頃	はさまれ、 巻き込まれ 乗用車	その他の小売業 (8.2.9) 1人～9人	
7	H31.4 11時頃	墜落、転落 屋根	木造家屋建築工事業 (3.2.2) 1人～9人	雨どいの設置工事の為、高さ約5mの屋根上で作業を行っていたところ墜落した。
8	H31.4 10時頃	はさまれ、 巻き込まれ 掘削用機械	土地整理土木工事業 (3.1.9) 1人～9人	
9	R1.5 13時頃	墜落、転落 はり	木造家屋建築工事業 (3.2.2) 1人～9人	高さ約4mの梁上で、梁間につなぎを入れようと片足をつなぎに乗せた状態で、掛矢でつなぎを打ったところ、つなぎがホゾからはずれ、つなぎもろとも墜落した。
10	R1.5 13時頃	激突され クレーン	製鉄・製鋼・圧延業 (1.10.1) 300～399人	

 = 東日本大震災復旧作業 = 今年4月以降発生分

昨年(平成30年)古川労働基準監督署管内で発生した死亡災害の概要

発 生 月 発 生 時 間	事故の型 起 因 物	業 種	災 害 の 概 要
2月 午前10時頃	墜落、転落 建築物、構築物	電気通信 工事業	送電線の鉄塔上(高さ約50m)で、被災者が金具設置工事の作業中、墜落した。
7月 午後4時頃	転倒 整地・運搬・ 積み込み用機械	その他の 土木工事業	枝葉の仮置場において、トラックから降ろした庭木剪定の枝葉をトラクターショベルで押していたところ、トラクターショベルが左側に転倒し、当該トラクターショベルのヘッドガードの支柱と地面の間に運転者が挟まれた。
8月 午前11時頃	崩壊、倒壊 立木等	林業	杉林内の伐木・搬出現場においてチェーンソー作業を行っていた被災者が、立木の下敷きになった。
11月 午前9時頃	感電 送配電線等	電気通信 工事業	送電鉄塔の上部(高さ約25m付近)で写真撮影を行っていた際に感電した。